

# 職場を守る 防災マニュアル

Disaster Prevention Manual

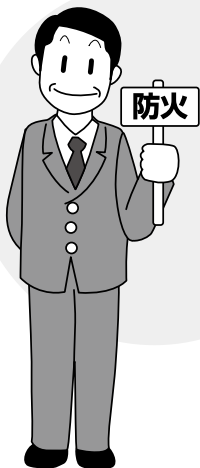


神戸市

# 防災活動は職場から（職場の役割分担）

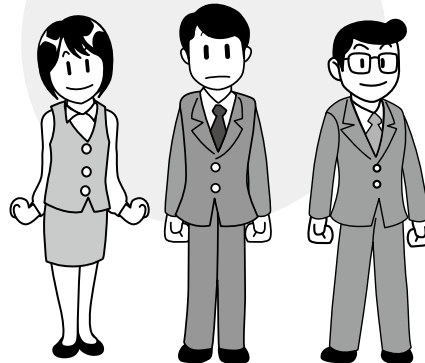
## 万々に備えて職場の役割分担を

### 1 防火管理者などを中心に対策を



防火管理者や防災管理者、自衛消防隊などの責任者を中心に防災活動に取り組みましょう。

### 2 日頃から各自の役割を決めておく



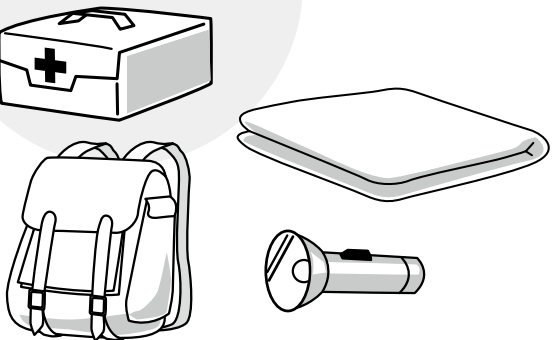
各部署ごとに防災責任者や初期消火担当、避難誘導担当などの役割を分担して、社員一人ひとりが責任感を持つようにしましょう。

### 3 緊急マニュアルを用意する



防災会議を定期的に行い、災害の際の役割分担を確認し合い、緊急時の行動手順や役割分担を記したマニュアルを消防計画と共に作成しておきましょう。

### 4 防災用品を用意しておく

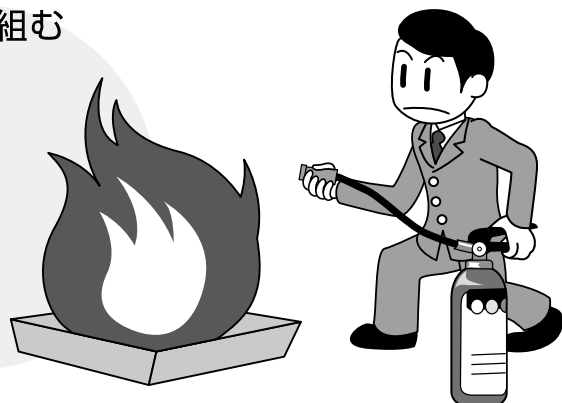


災害が起こったとき、避難誘導やケガ人の処置、交通機関のマヒなどを考え、懐中電灯、トランジスタラジオ、ハンドマイクや医薬品、毛布、非常食などの防災用品も用意しておきましょう。

### 5 防災訓練など地域とともに防災に取り組む

自分の職場だけでなく、周囲の会社や自治体、住民など、地域とともに防災活動を行いましょう。会社での防災訓練はもとより、地域での訓練などに積極的に参加しましょう。

※自宅には住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置し、エプロンやカーテンは防災品を使用するなど、住宅防火もこころがけましょう。



# 火災対策

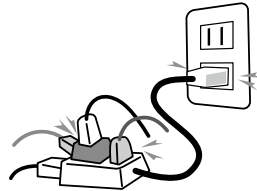
## 職場の火災原因を徹底チェック

### ●たばこ



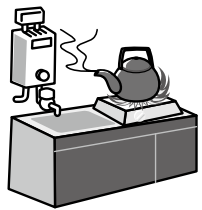
たばこ火災で怖いのは無炎燃焼です。数時間経ってから燃え広がることがあるため注意が必要です。吸い殻をごみ箱に捨てるのは絶対にやめましょう。また、灰皿に吸い殻を溜めないようにしましょう。

### ●電気



OA機器や各種事務機器など、オフィスには電気コードが縦横に接続されています。タコ足配線や、コードを束ねて使用するのをやめましょう。また、プラグにほこりが溜まらないように、定期的に清掃しましょう。

### ●給湯室



オフィスでのガス・電気コンロ、湯沸かし器などの火気使用室の管理責任者を決めておきましょう。

### ●カセットボンベ、スプレー缶



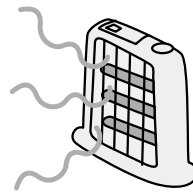
カセットボンベや殺虫剤、消臭剤などのスプレー缶には、可燃性ガスが含まれるものが多くあります。使用方法や保管場所、処理の方法を誤ると、火災につながる場合があります。中身を最後まで使い切り、穴をあけずに他のごみと分けて廃棄しましょう。

### ●放火



深夜の車庫や出入口・非常階段などに置かれた可燃ゴミなどが狙われています。建物の周りに燃えやすいものを放置しないようにしましょう。

### ●ストーブ



現在、オフィスではエアコンによる暖房が一般的になっていますが、ストーブを使用する場合は注意が必要です。燃えやすいものの近くでストーブを使用するのはやめましょう。電気ストーブも危険です。

## 火災発生!あなたはどう行動する?

### 🔥 火災を発見したら

大声で周囲に知らせる!



非常ベル等の押しボタンを押す



※非常ベル等の押しボタンは、屋内消火栓または廊下等に設置されています。

その他の方法で周囲に知らせる



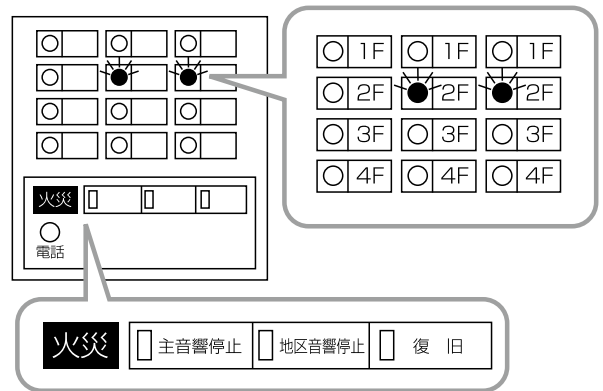
# 火災対策

職場で設置されているものを確認しましょう。

## 自動火災報知設備が作動したら

### ① 感知器が作動

作動すると、受信機の表示灯が点灯し、音響が鳴りますので、「主音響停止」を行って下さい。「火災」と書かれた火災表示灯と感知器の作動した区域の地区表示灯が点灯します。



### 複数の地区表示灯が点灯した場合

### ② 119番通報をする

複数の地区表示灯が点灯した場合は、火災と判断して119番通報を行います。お客さんがいる場合は避難誘導を開始します。

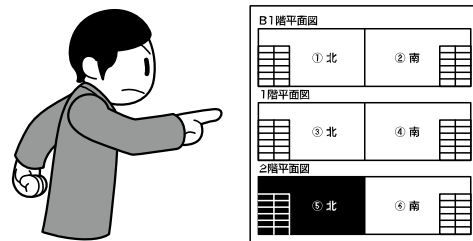


### ③ 火災区域の確認

受信機に備え付けられている警戒区域一覧図を活用して点灯した地区表示灯の警戒区域を確認します。

### ② 火災区域の確認

受信機に備え付けられている警戒区域一覧図を活用して点灯した地区表示灯の警戒区域を確認します。



### ④ 消火活動へ向かう



### 誤って発報した場合……

火災ではないのに自動火災報知設備が鳴動した時は、

①地区音響停止・主音響停止スイッチを押す

②どの感知器が

作動したのか(現場で)確認

③復旧をかける

そして、復旧後は必ず、地区音響・主音響ともに、停止を解除するようにしてください!一度停止させると、解除しなければ次に感知した時に音が鳴らないことがあります。



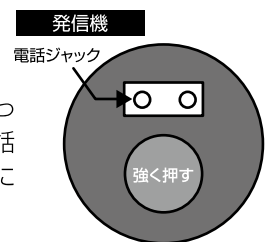
※地区音響…感知器発報現場など、建物内で聞こえている音響  
主音響…受信機から聞こえる音響

### ③ 現場確認

現場へ確認に行きます。

### 電話ジャック付発信機があり、複数人がいる場合

現場に行く人は、電話の受話器を持って現場確認に行きます。そして受話器を電話ジャックにつなぎ、受信機にいる人に現場の状況を連絡します。



### 非常放送設備があり、複数人がいる場合

非常放送設備等を使用して、現場の確認を行わせます。通報連絡班に現場を確認するよう指示し、非常電話やインターホン、内線電話等により報告させます。

### ④ 火災であれば119番通報をする

現場から火災発生との連絡を受ければ119番通報をします。また、初期消火担当者は火災が初期の段階であれば消火活動を、避難誘導担当者は在館者の避難誘導を行います。

## 非常放送設備はどのように使うのか

### ●自火報連動起動

自動火災報知設備と連動して自動で放送が流れる場合。

#### ① 感知器作動

感知器発報放送が流れます。

#### 放送内容

ただいま、〇階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。(女性声)

(建物の規模によっては最初は発報した階とその直上階だけ放送が流れるものもある。)

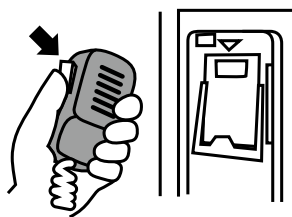
#### ② 下記のいずれかにより「火災放送」が流れる

- ・火災放送スイッチを押した場合
  - ・発信機の押しボタンを押した場合
- (感知器の発報のあるなしにかかわらず、発信機の押しボタンを押した場合は「火災放送」が流れる。)

#### 放送内容

火事です。火事です。〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。(男性声)

- ③ 「火災放送」が流れたあと、非常用マイクで火災状況や避難指示、自衛消防隊の活動指示を行います(マイク横にあるプレストークボタンを押しながら話す、火災放送はその間だけ止まる)。



- ※現場確認の結果、異常がなかった場合は…  
「非火災放送」スイッチを押すと非火災報放送が流れます。

#### 放送内容

さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。

※消防用設備等は消防法により定期的な点検及び消防署長への報告が義務付けられています。

### ●手動起動

手動により放送を起動させる場合。

#### ① 感知器作動

#### ② 非常起動スイッチを押す

火災表示灯が点灯します。

- ③ 全館放送する場合は「一齐放送」スイッチを、一部の階に放送する場合は「放送階選択」スイッチで必要な階を選択し、非常用マイクで放送します。(マイク横にあるプレストークボタンを押しながら話す。)

#### 放送例

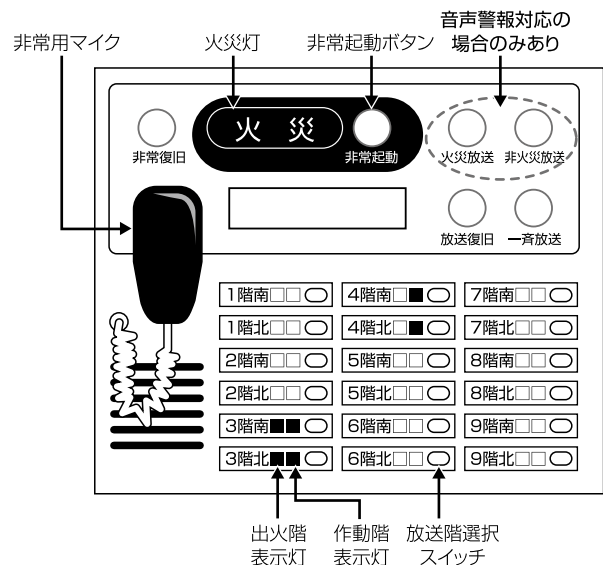
ただいま、〇階〇〇で火災信号を受信しました。職員は直ちに異常の有無を確認し、防災センターまで連絡してください。なお、お客様(職員)は次の放送にご注意ください。

- ④ 火災発生を確認すれば、初期消火及び避難誘導等の実施を自衛消防隊へ指示するとともに、在館者への火災状況の連絡を非常放送で行います。

#### 放送例

ただいま、〇階〇〇で火災が発生しました。自衛消防隊各班は活動を開始してください。お客様は従業員の指示に従い避難してください。

※非火災報であれば、自動火災報知設備の受信機の火災復旧スイッチを操作し、復旧させます。そして、非火災報であった旨を放送します。非常放送設備の非常復旧スイッチを押し、復旧させます。



# 火災対策

## 初期消火はどのようにすればよいか

### ●消火器の使い方



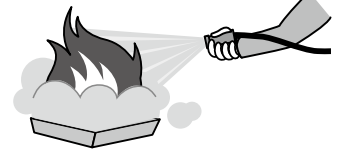
① 安全栓を上にはきぬく。



② ノズルを火元に向ける。



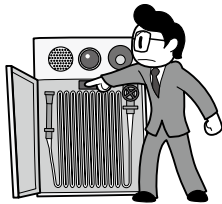
③ レバーを強く握る。



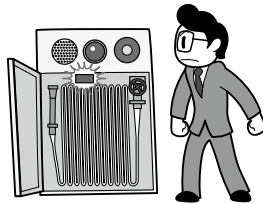
④ 燃えているものに放射する。

### ●屋内消火栓の使い方

#### 2人以上で操作する消火栓（1号消火栓）



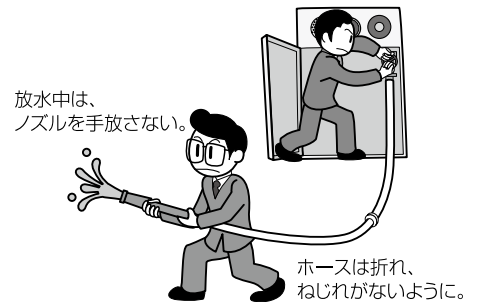
① 扉を開きしっかりと起動ボタンを押す。



② 表示灯（赤色灯）が点滅して、消火ポンプの始動を知らせる。

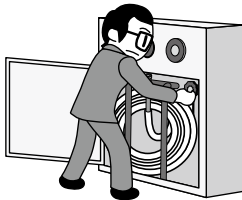


③ 消火栓の扉内に、ホースとノズルが収納されている。ホースをのばす。

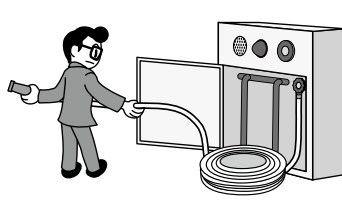


④ バルブを開くと、ノズルから放水が始まる。バルブは全開とする。

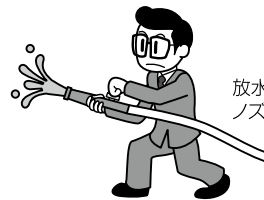
#### 1人でも操作可能な消火栓（易操作性1号消火栓・2号消火栓等）



① 消火栓弁を開く。



② ノズルを取り出し、ホースをのばす。



③ 手元ノズルの開閉レバーを開く。

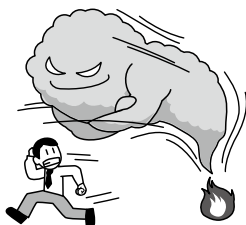
放水中は、ノズルを手放さない。

※放水訓練をするときの注意点！

- その1 放水中は、ノズルをはなさない（ノズルが動き、負傷することがあります）。
- その2 ホースの折れ、ねじれがないように注意する（有効な放水圧力が確保できません）。
- その3 訓練などで使用した場合は、必ず消火ポンプを停止することを忘れない（ポンプは、消火ポンプ室の「消火ポンプ停止ボタン」でのみ停止ができます）。

## 火災で怖いのは炎より煙です

火災で怖いのは炎より煙です。一酸化炭素などの有毒ガスが多く含まれています。



### 煙の性質を知っておこう

煙のスピードは横方向に毎秒約1m、上昇時には毎秒3～5mとされています。すみやかに避難しましょう。



タオルやハンカチなどで口や鼻をおおい、姿勢はできるだけ低くして

煙は上方へ上がる性質があるため、下の方が煙は薄く空気が残っている可能性があります。できるだけ姿勢を低くして避難しましょう。

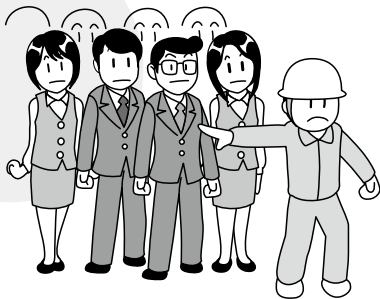
## 避難誘導の要領は

### 非常放送設備

非常放送設備を使用して  
建物内の人に避難誘導を行う。



係員が先頭に立ち、  
整然と避難する。



出火した階の人が、  
全員階段室に避難したら  
防火戸を閉める。



階段、避難口前に係員を配置し、  
メガホン、拡声器などを使用して誘導する。



救助袋、緩降機などは、階段が使用できない場合にだけ使用します。

避難通路の要所要所に  
係員を配置して誘導する。



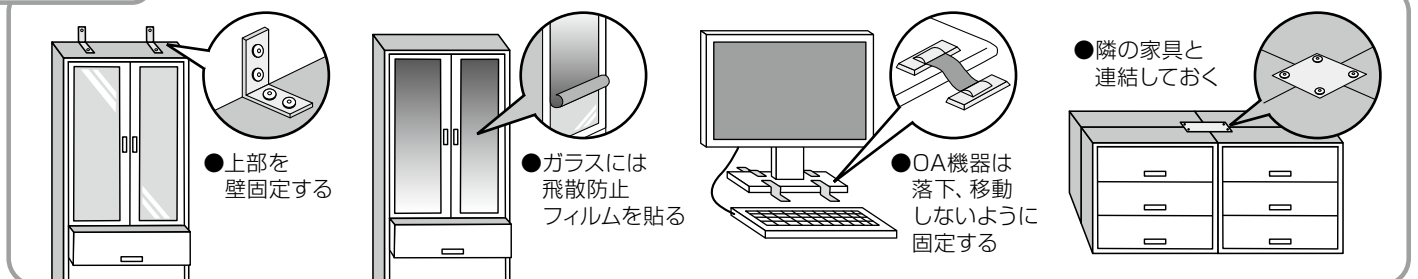
# 防災対策

## 職場をチェックしよう

- ① 給湯室の湯沸かし器やコンロなど火元の安全管理をきちんとしているか。
- ② 消火器は定期的に点検し、決められた場所に置かれているか。
- ③ コード類は床の上にむき出しにしていないか。また、たこ足配線になっていないか。
- ④ コンセントにホコリはたまっていないか。
- ⑤ 整理整頓を心がけているか。
- ⑥ 避難経路上や防火扉の前に物が置かれていないか。
- ⑦ 棚やコピー機・パソコン等OA機器の移動・転倒防止をはかっているか。
- ⑧ 棚の上を荷物置き場にしていないか。(地震のときに落下する)
- ⑨ ガラスに飛散防止シートを貼っているか。ガラスが割れないように窓のそばにものを置いていないか。



### 転倒防止例





# 地震対策

## 地震だ!そのときどうする?

### ●職場内

- テーブルなどの下に隠れ、身を守る(余裕がなければ、手近の書類やカバンなどで頭を保護する)。
- 避難口を確保する。
- 室内をサンダルなどで歩き回らない(ケガをしないよう靴にはきかえる)。
- 火元の始末はすみやかに(コンセントやガス栓、たばこの吸いさしなど)。



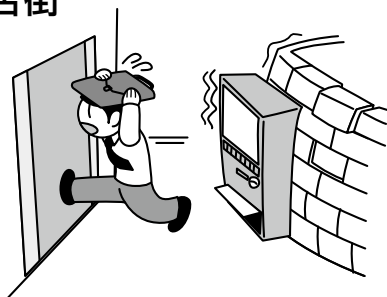
### ●ホール・劇場

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、落ち着いて様子を見る。係員の指示に従い冷静に行動を。



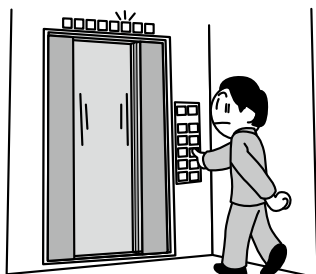
### ●オフィス街・商店街

- その場に立ち止まらず、頭をカバンなどで保護して近くの建物や公園などへ避難する。
- 逃げる場所の判断を誤らない(間口の広い木造の建物や自動販売機、ブロック塀のそばなどには避難しない)。



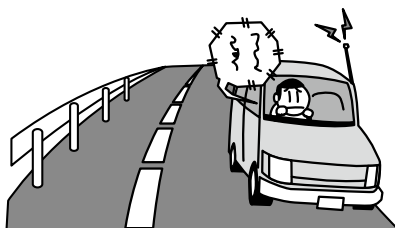
### ●エレベーター

- 最寄りの階で止めて降りる。万が一ドアが開かないときでも、エレベーター内で救助を待つ。



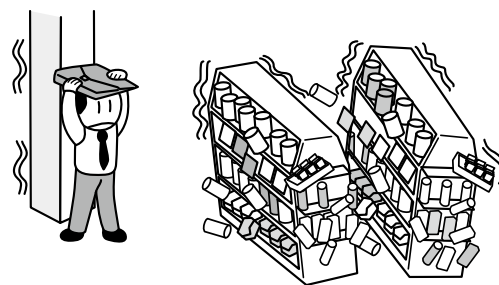
### ●車を運転中

- 地震を感じたら徐々に速度を落とし、道路の左側に寄せてエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオで情報を得る。
- 車を離れるときはキーはつけたままにする。ドアロックもしない。



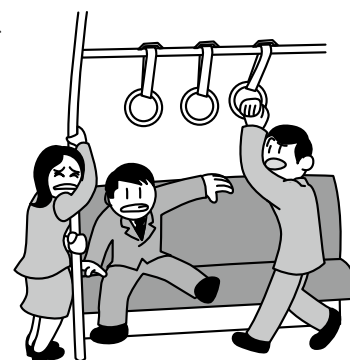
### ●デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドーや商品などから離れる。柱や壁際に身を寄せ、係員の指示を聞く。



### ●電車や地下鉄の車内

- 急停車することがあるので、つり革や手すりなどにしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び出さない。
- 乗務員のアナウンスに従って落ち着いた行動を。



## 自宅に帰れなくなったときは ~帰宅困難者対策~



鉄道などの公共交通機関が途絶し、自宅に帰ることが困難になることがあります。無理に帰宅しようとすると路上や鉄道の駅周辺では大混雑が発生し、集団転倒に巻き込まれたり、火災や沿道の建物からの落下物などで負傷する危険性があります。

- すぐに帰宅しようとするのではなく、職場に泊まるなど最も安全な方法を冷静に判断する。
- 普段から職場には食料や飲料水などの最低限の物資を備えておく。
- 職場から自宅まで徒歩で帰宅する際の経路(複数)を事前に確認し、実際に歩いてみる。

※関西では災害時の徒歩帰宅者を支援するために水道水、トイレ、道路情報などを提供していただける店舗(コンビニエンスストア、外食事業者など)を「災害時帰宅支援ステーション」としており、入口には左のステッカーが貼ってあります。必要に応じて利用しましょう。

# 津波対策

## ※南海トラフ巨大地震発生！ そのとき神戸は？

最大震度6強・全域で5強以上、  
ゆっくりとした大きな揺れが1～2分以上続く

- 窓ガラスの飛散、家具の転倒
- 建物の損傷、大規模火災
- 液状化やがけ崩れ
- 広範囲にわたるライフラインの供給停止
- 交通機関の寸断、物流の途絶

※内閣府「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）及び被害想定（第一次報告）について」（平成24年8月29日）による



## 津波のおそれがある場合は速やかに高台か丈夫な建物の3階以上へ

- 強い揺れや長い時間の揺れを感じたら…
- 大津波・津波警報が発表されたら…



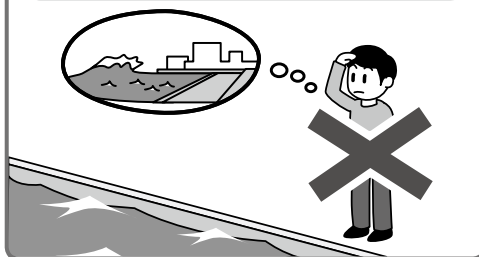
海岸付近にいるときは速やかに高台か丈夫な建物の3階以上に避難



- 津波注意報が発表されたら…  
(揺れを感じなくても)



海岸や河口には絶対に近づかない



- 津波は繰り返し来襲するので警報・注意報の解除までは警戒を続けましょう。
- 落ち着いて、ラジオ、テレビ等から正しい情報を入手しましょう。

## ※南海トラフ巨大地震 津波発生時の避難は？

- 津波浸水想定地域にいるときは、予想津波到達時刻より前に津波浸水想定地域の外側に避難します。
- 津波浸水想定地域外の地区にいるときも、念のためできるだけ高い場所へ移動します。
- 逃げ遅れたなどの緊急時は、最寄りの丈夫な建物の3階以上へ待避します。
- 津波は何度も来襲し、第1波が最大とは限らないので、津波警報等が解除されるまで避難を続ける必要があります。

津波浸水想定地域の外側へ

丈夫な建物の3階以上へ



# 風水害対策

## チェック!

### ●社内では

- 事前にラジオやテレビ(データ放送)などで情報の収集をする。
- 停電に備えて懐中電灯の用意をする。
- 避難に備えて非常持出品の準備をする。
- むやみに外出しない。
- 車の使用は控える。
- 断水に備えて飲料水を確保する。
- 浸水の恐れのある場所では、書類や商品・事務機器などを高い場所へ移動する。



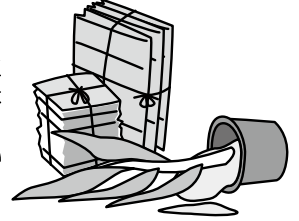
### ●窓ガラス

- ひび割れ、窓枠のがたつきはないか。
- 場合によっては強風による飛来物などに備えて、ガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの処置をする。



### ●バルコニー

- 鉢植え・紙束・段ボール・粗大ゴミなど、飛散の危険性があるものは室内へ入れる。
- 手すりなどに脱落の危険性がないか確認する。



### ●会社の周囲

- 粗大ゴミや商品・紙束類など、飛散しやすいものを放置していないか確認する。
- 会社の看板や案内板、外灯などに腐りや亀裂などの破損や飛散の危険性がないか確認する。
- 周囲の排水溝にゴミや泥などがつまっていないか、排水機能は万全か確認する。



## 土砂災害発生！ そのときあなたは！

### 地域を確認！

土砂災害警戒区域、緊急避難場所などを確認しておきましょう。

毎年6月に各戸に配布している「くらしの防災ガイド」やKOBE防災ポータルサイト「SONAE to U?」で確認できます。

### 情報を収集！

大雨などの気象情報や避難勧告などの防災情報に注意しましょう。

神戸市では、以下の方法で情報を提供しています。

- 防災行政無線、テレビ・ラジオ、緊急速報メール
- ひょうご防災ネット(※ぜひ登録をお願いします)
- 市ホームページ

### 早めの避難！

危険を感じたら速やかに避難しましょう。

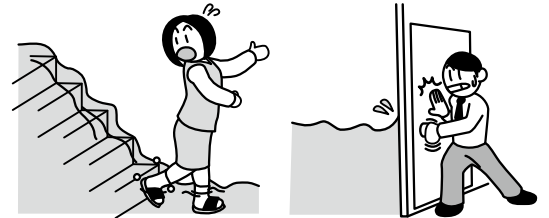
土砂災害は、発生する前に前触れがある場合があります。

避難には「緊急避難場所などへの避難」と「屋内安全確保」があります。

土砂災害は、緊急避難場所などへの避難が基本です。緊急のときは崖から離れた2階以上の部屋に避難しましょう。

### ●豪雨時の地下空間は危険です

豪雨時は、建築物の地下街へ急激に水が流入するおそれがあります。浸水すると電灯が消え、また、水圧でドアが開かなくなることがありますので大変危険です。浸水の危険があるときは早めに避難しましょう。



## 情報の収集方法

### 気象情報

■神戸市降雨情報/レインマップこうべ250  
<http://rainmap-kobe250.jp>

■神戸地方気象台  
<http://www.jma-net.go.jp/kobe-c/home/index.html>

■神戸市雨量情報テレホンサービス  
TEL:325-3960 747-2159

### 土砂災害危険度

兵庫県地域別土砂災害危険度

<http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiikidosya/>

### ひょうご防災ネットの登録

携帯電話のインターネット機能を利用し、県や市から防災情報を発信しています。

#### 登録方法A

携帯電話のインターネット閲覧機能で  
<http://bosai.net/kobe/>  
にアクセスする

#### 登録方法B

携帯電話のバーコード読取機能で  
右記のQRコードを読み込む



# 119番通報の要領

- 火災・救急別** 「火事です」、「救急です」をはっきりと
- 場 所** 「〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番〇号」と詳しく  
※職場の電話の近くなどに「住所」「電話番号」を書いた紙を貼っておきましょう。
- 目 標** 公共施設など目標となるものを  
(学校、病院、公園など)
- 火 事 の 時** 何が燃えているか?  
(民家、自動車、空き地の雑草など)  
逃げ遅れた人はいるか?
- 救 急 の 時** 救急車を必要とする人の性別、年齢、症状、など

## ⚠️ ご注意ください ⚠️

携帯電話などからの119番通報は、次のことに注意してください。

- 1 携帯電話などからの通報であることを教えてください。
- 2 運転中の場合は、安全な場所に停車してから通報してください。
- 3 発生場所の市町村名、住所がわからないときには、表札、看板などで確認するか、近くの人に聞くなどして、場所を確かめてください。
- 4 発生場所の確認のため、消防本部からかけ直すことがありますので、消防車・救急車が到着するまでは電話の電源を切らず、できる限り電話を使用しないで下さい。
- 5 場所がわからない場合は、近くの公衆電話をご利用ください。

## ホームページへアクセス!

インターネット上にホームページを開設し、  
各種イベント情報や統計資料、“安全”や“安心”情報などを発信しています。

神戸市 消防局

検索 

神戸市消防局では自宅や勤務先からおこなえる電子申請を「自衛消防訓練届出書」や「消防計画作成届出書」の提出などで一部の様式で始めています。

神戸市消防局 届出 電子申請

検索 

**連絡先**

神戸市総合コールセンター 0570-083330 又は 078-333-3330